

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 150-0013
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 氏 名 株式会社 アトレ
 代表取締役 菊池 眞澄 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社アトレ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎区駅前本町26番地1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	ショッピングセンターの運営・管理		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,468 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総合企画部
		所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
		電話番号	03-5475-8510
		FAX番号	03-5475-8517
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	弊社の環境経営の取り組みについてはホームページに公表しています。 http://www.atre.co.jp/company/activity/environment.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

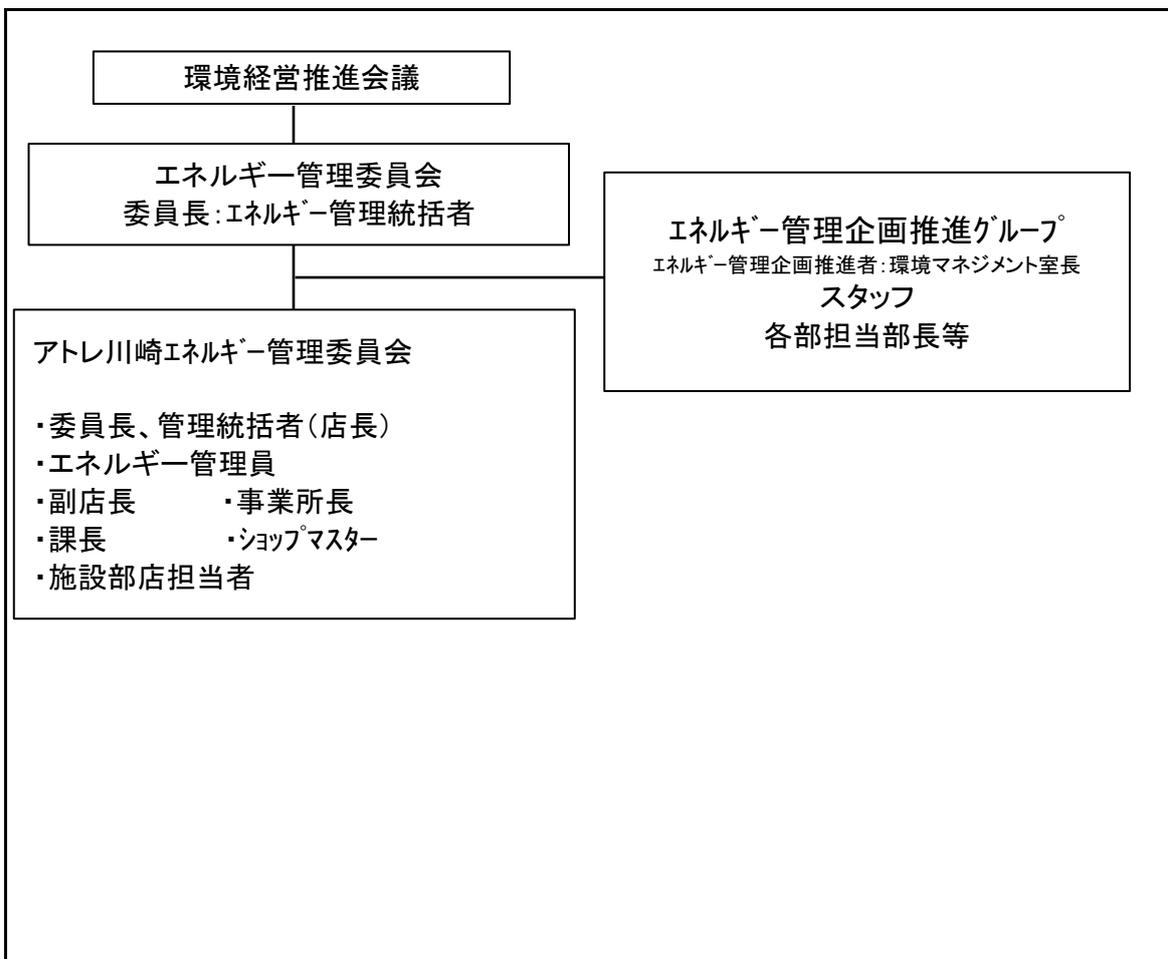
事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

事業活動を通じて、環境問題への意識を高め、環境負荷を最小限に抑え、環境効率を向上させます。

- 1) 省エネ・省資源の追求
- 2) 二酸化炭素排出の削減と省エネ設備の導入
- 3) 廃棄物の削減とリサイクル率の向上
- 4) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入）の推進
- 5) お客様と地域に貢献する環境施策の推進
- 6) 環境マネジメントシステム（EMS）の維持・発展

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) (調) 3,716 t-CO ₂	目標排出量	(実) 3,678 t-CO ₂
削減率	(実) 1.0 %	削減量	(実) 38 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積×年間営業時間	単 位	t-CO ₂ /m ² ・h
基準年度の値	1.745×10 ⁻⁵	目標年度の値	1.728×10 ⁻⁵
削減率	1.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	営業時間が使用量に影響するため。		

ウ 目標設定に関する考え方

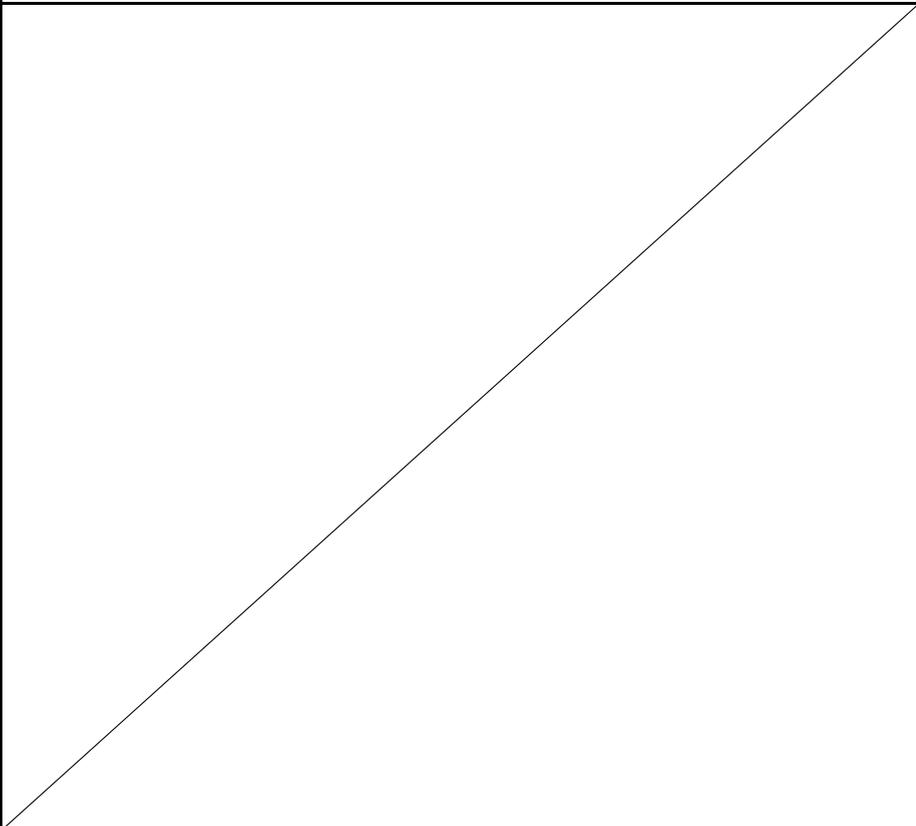
<p>第一計画期間においては、毎年度1%ずつ、第3年度に3%の削減を目標としていた。実際には第一計画期間第3年度においては32.8%の削減を達成し、目標を大きく上回った。</p> <p>第二計画期間においては、この第一計画期間第3年度の3,716t-CO₂が基準排出量となり、既に第一計画期間の基準排出量から大きく削減が進んでいる。</p> <p>商業施設という事業所の特性上、これ以上の削減は困難が予想されるが、今後一部照明のLED化を実施予定のため、「1%」削減を目標とする。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

<p>全社目標として、2014年度まで「2010年度エネルギー使用量原単位比10%以上削減」</p>
--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>・今後、一部照明のLED化を実施予定。</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
	なし		

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
	なし		

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱源水送水温度制御の導入 ・ B 1 階～ 8 階の共用通路にLED照明器具の導入
--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・屋上緑化
5階屋上を一部緑化した。(平成22年5月21日オープン)
なお、当事業は、川崎市屋上緑化等助成事業により補助金の交付を受けた。
- ・廃棄物リサイクル率の向上
廃棄物リサイクル率の向上により、処分時の温室効果ガスの排出を抑制する。
- ・グリーン購入の推進
文具・事務用品の、グリーン購入率100%を目標とする。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,716	t-CO ₂
(調)	3,716	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
アトレ川崎	川崎区駅前本町26番地1	6911	不動産賃貸業	3,716 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--